

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上点数が増加している。
	◎	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上が20%しかなかったところ、今月は70%まで急速に回復してきている。ただし、売上ゼロに近いところからの回復なので、例年と比較すると、まだ売上が70%程度しかなく、インバウンドや会社関係、団体旅行は動いていない。今までどおりにまで回復するにはしばらく時間が掛かる。
	◎	観光名所（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後、個人客、ツアー共に復活しており、突然の大きいわいとなっている。
	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月も墓じまいの依頼が多く、仏壇処分や永代供養墓の利用、葬儀の依頼も多くなっている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少や緊急事態宣言解除で、観光客が動き出している。しかし、自家用車による移動が中心であり、駅前立地の当店は、今一つである。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除になってから、客の来店数が若干だが増えてきている。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・現在は催事なども通常に戻ってきており、客足の戻りを感じている。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上は15%増、来客数は9%減となっている。当市独自のプレミアム付商品券が販売されたことで、売上は伸びている。3000円の購入で、5000円分買物ができるお得なクーポンのため、前年も販売したが大変好評である。新型コロナウイルスの新規感染者が劇的に減少し、このまま第6波は来ないで、とうとう終息するのではないかと考えている。マスクをして感染予防しながら、経済が回るとうれしい。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は、前年と比べて毎月良くなってきている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・土日の人出が増えている。
	○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスが落ち着き、やや良くなっている。
	○	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・当県では通常、農繁期は宴会や会合等は少なくなるが、新型コロナウイルス禍において外出機会の減少に慣れてしまったことも手伝い、来客数が減少していると思われる。
	○	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の声に明るい前向きな言葉が混じるようになってきたように感じる。
	○	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者の減少と緊急事態宣言解除により、動きが活発化している。通常、選挙の時は販売に影響があるが、今回は重なった割には投票日までの期間が短いためか、影響は少ないようである。ただし、気温が低めなのでそちらの影響は出るかもしれない。災害の発生のないことを祈っている。有り難いことに、月次の支援金にかなり助けられている。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数、売上いずれも、まだ良いとは言えないものの、明らかに上向いてきている。新型コロナウイルスの終息がみえてきたことが本当に有り難い。11月に新規感染者が増えなければ、今年は忘年会もできるのではないかと。そうなれば勢いが出てくる。居酒屋に行くことが禁止になっている会社がまだまだ多い。どこかのタイミングで政府から、解禁を呼び掛けてもらえるとうれしい。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・全国の緊急事態宣言が10月1日から解除となり、客の行動マインドが上がっている。今月の宴会売上は、今年度で最も多くなっている。
○	旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・客の動きが止まっていたが、少しずつ個人の来店客が増加してきている。旅行申込みも成約するケースが増加傾向で、回復の兆しがある。	

○	遊園地（職員）	来客数の動き	・前年の秋は来客数が新型コロナウイルス流行前の数に向けて、回復傾向となっていた。今年も徐々に来客数が回復傾向にあり、前年とさほど差異はない状況になってきている。最近、今年の中でも新規感染者数の減少が最も大きいので、回復してきている。
○	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが終息場面にきているが、県下での感染対策強化が実を結んだものと思われる。ただし、客は高齢者が多いだけに、マスクの着用、アルコール消毒をしており、その他クラブ側でも徹底した新型コロナウイルス対応を試みている。高齢者が多いコースとしてこれからも頑張っていきたい。
○	その他サービス 〔貸切バス〕 （経営者）	来客数の動き	・10月に入り、新型コロナウイルスの新規感染が収まってきたため、販売量が増えている。
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・規制が解除されたからといって、一気に客足が戻るわけではない。先行きの障害が不透明ながらもなくなった分、年配者もちらほらと街へ出始めている。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスワクチン接種も落ち着き、徐々に生活も戻りつつある。ただし、半導体関連の商材不足やガソリン価格の高騰により、全体的に商材は値上がり傾向である。収入増加が見込めないなかで、消費者の財布のひもは緩められない様子がうかがえる。
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・人が街に出てこない。
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・人の動きが全くみられない。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・景気の低迷により、来客数の減少が継続している。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の供給不足や中古車の商材不足の影響で、販売が滞っている。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は、今月の目標計画どおりとなっている。半導体不足による新車納期遅延で、購入をちゅうちよする客がいることも、売上が伸びない要因となっている。
□	自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・客単価はやや上がってきているものの、来客数が伸びず、全体として売上が伸びない。景気は余り変わっていない。
□	その他専門店 〔酒〕（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言も終わり、日常に戻りそうだが、また同じような感染の波が来たり、非常に低調だったり、もう元には戻らないと思っている。そのなかでどのようにやっていくかということで、客の動きを観察しながら慎重に引き締めて今後も続けていかなければならない。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新規加入は増加しつつあるものの、休止や解約の増加傾向も続いている。
□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新規依頼数は減少していて、計画の進まない物件も出ている。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、学校のクラブ活動がほとんど動いていない。当店のような専門店にはクラブ活動がないと、どうしても店頭販売がなくなってしまう。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前月は、たばこの値上げで特需があった。天候も涼しくなってきたので夏場よりは商材の日持ちが良いものの、客単価が低下しているので、やや厳しい。
▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・本来、昼にピークが来るはずだが、今月は午前中からずっと山がない。どういう理由かは今一つ分らないが、売上全体のピークがなくなったので、大分落ち込んでおり、やや厳しい。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・5～7月は徐々に上向いていたが、8～10月前半までは少し落ち気味である。
▲	通信会社（社員）	販売量の動き	・以前に比べ反響が薄くなってきている。各社からスマートフォンの格安料金プランが出てきて、インターネット回線の乗換え自体が少なくなっているように感じる。

	▲	その他サービス 〔クリーニング〕（経営者）	単価の動き	・少しずつ人は動き出したが、クリーニング業は、原油価格の高騰でかなり苦しくなっている。高騰が続くと大変困る。
	×	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子、来客の動きなどもあるが、景気は良くない。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴って客足が戻ってくるかと期待していたが、ステイホームの生活習慣が身に付いてしまっているのか、今のところその気配は全く感じられない。
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	*	*	*
	○	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除により、業務関係や一般酒販店への荷動きが徐々に回復しつつある。また、人流も僅かながら増加している。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量はやや増えてきているが、部品の入荷状況が悪く、止まる可能性もあり、安心できない。
	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は増加傾向にあるものの、資材価格の上昇や納期がはっきりしないことが、悩みの種でもある。
	○	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が終息に向かっており、経済活動が徐々に回復している兆しが感じられる。
	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が徐々に解除され、経済活動や旅行部門では少しずつ人も動き始めていると感じている。
	□	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・売上は前年同月比101%を達成したが、本調子ではない。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年の季節商材受注はあるものの、受注数は減少している。ワークショップの予約状況も、依然として低迷している。
	□	その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・卸売の動きが全くない。仕入意欲はなく、辛うじて委託販売で商材を回している状態である。緊急事態宣言解除で、催事の集客もしやすくなったとはいえ、まだ客数は戻っていない。ただし、来月以降への期待感が高まっている。
	▲	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業の受注水準は高いものの、半導体不足の影響やサプライチェーンの問題、原材料価格の高騰等が、景況感を下押ししている。非製造業は全国の緊急事態宣言解除に伴って景況感は改善し始めているが、引き続き水準感は低い。
	×	食料品製造業 (製造担当)	それ以外	・原材料価格が過去40年で最も高く、11月から更に値上がりするとのことなので、利益の出る状況ではない。
雇用 関連  (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・明らかに、飲食業や宿泊業からの求人が増加している。全体的に活気が出てきたように感じる。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が増加傾向である。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・相変わらず、採用条件等は厳しく、回答までに時間が掛かってしまい、収入がなくなる方からの相談も増える一方である。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・現在は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、求人広告への掲載企業数は多少増えている。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—